



2024年8月1日発行

発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集
特別委員会



■白岩小学校としての参加が最後の「白岩地区小学校・保育園・住民合同大運動会」(小学生の応援合戦)

第3回臨時会、議員賛否 P2
第4回定例会、議員賛否 P3
予算常任委員会 P4

一般質問
総務文教常任委員会
市民福祉常任委員会

P5~11
P12
P13

産業建設常任委員会 P14
議会傍聴の感想 P15
議会議長会表彰・
人事案件・編集後記 P16

— 第3回臨時会 (4/24開催) —

本庁舎機能は田沢湖に／角館上野庁舎を新設

令和6年 第3回臨時会が4月24日に開催され、市役所本庁舎機能を田沢湖庁舎に残して、旧角館総合病院の管理棟を改修し「角館上野庁舎」として、新たな庁舎にする条例改正案を可決しました。

また、国民健康保険税条例の一部改正や各委員会の2年の任期満了による再編成が決定したほか、議員提出議案の議会広報編集特別委員会設置案が可決されました。

第3回 臨時会で可決された主な議案

◆議案第60号 仙北市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例制定について

本庁舎 田沢湖庁舎 45人

- 市長、副市長 ■議場 ■総務課
- 事務事業総合調整室 ■総合防災課
- 議会事務局 ■田沢湖市民センター
- 田沢湖公民館

※第2庁舎、総合開発センター
田沢湖保健センターは順次解体

令和8年2月

田沢湖庁舎から
移転

新庁舎 角館上野庁舎 99人 (旧角館総合病院 管理棟を改修)

- 財政課 ■管財課 ■税務課
- 契約検査室 ■会計課 ■企画部
- 教育委員会 ■監査委員事務局
- 選挙管理委員会事務局

※解体・改修の総事業費は19.6億円
(市の実質負担は6.5億円)

新たな委員会の構成 (◎は委員長、○は副委員長)

総務文教常任委員会

- ◎田口寿宜 ○中村和彦
- 門脇晃幸 熊谷一夫
- 真崎寿浩



市民福祉常任委員会

- ◎高橋輝彦 ○小田島広仁
- 澤田雅亮 平岡裕子
- 小林幸悦



産業建設常任委員会

- ◎荒木田俊一 ○西宮三春
- 武藤義彦 青柳宗五郎
- 高久昭二



予算常任委員会 (全議員で構成)

- ◎青柳宗五郎 ○小田島広仁

議会運営委員会

- ◎武藤義彦 ○門脇晃幸
- 中村和彦 高橋輝彦
- 田口寿宜 荒木田俊一
- 高久昭二

議会改革推進協議会

- ◎門脇晃幸 ○澤田雅亮
- 西宮三春 武藤義彦
- 高橋輝彦 田口寿宜

議決結果/議員賛否

令和6年 第3回 仙北市議会臨時会(招集日:令和6年4月24日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席 (議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決月日	議決結果	蒼生会						公明党	共産党	無会派						
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	青柳宗五郎	門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宜	澤田雅亮	中村和彦	小田島広仁	西宮三春
議案第60号	仙北市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例制定について	4/24	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	退	反	反	賛	賛	反	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

—第4回(6月)定例会—

水道料金 9月から値上げ(3年がかりで平均27%引上げ)

令和6年 第4回定例会が6月6日から6月28日まで23日間の会期で開催され、令和6年度一般会計補正予算などの予算関係5件、条例関係3件、その他4件、人事関係5件の計24件が審議され、水道料金の値上げなどすべての議案が可決・同意されました。

■第4回 定例会で可決された主な議案

議案第64号 仙北市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について(水道料金値上げ) 急激な負担増加を緩和するため3年かけて段階的な改定を行う

- 1回目 令和6年9月1日(1/3値上げ)
- 2回目 令和7年9月1日(2/3値上げ)
- 3回目 令和8年9月1日(全額値上げ)

現行・改定料金の比較(1ヶ月20㎡当たりの料金)

口径	現行料金	改定料金	差額
13mm	3,795円	4,730円	935円
20mm	4,015円	5,170円	1,155円

水道料金の値上げに関する条例改正案は、今年の9月から令和8年9月まで3回に分けて基本料金と従量料金を平均27%を段階的に引き上げるものである。

一般的な家庭(口径13mm/月20㎡使用)では、1ヶ月935円の値上げとなる。

議案第62号 仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について 故吉田淳二様のご遺族の寄付金を「田沢湖観光振興基金」として創設する

田沢湖町観光協会長などを務めた
故吉田淳二様のご遺族より2千万円の寄付を
頂く。

仙北市「仙北市田沢湖観光振興基金」創設
ご遺族の意向により、田沢湖や周辺観光施設の整備、
観光振興に活用させていただきます。

議案第61号及び議案第76号 財産の取得について

【議案第61号】 軽四輪駆動小型消防ポンプ付積載車〔5台〕

メーカー
ダイハツ ハイゼット(5台)
購入価格
42,350,000円(1台847万円)
購入業者
(株)高義商会(湯沢市川連町)



配備先

- ・第1分団…1台
- ・第2分団…1台
- ・第4分団…2台
- ・第6分団…1台

【議案第76号】 防災行政情報伝達新システム戸別受信機〔1,000台〕

購入価格 65,450,000円(1台65,450円)

購入業者 有限会社 北都モバイル

使用開始 令和7年4月1日からの使用を予定

◆現行の防災行政無線(屋外スピーカー&戸別受信機)は老朽化により、令和7年3月末で廃止されます。

◆令和7年4月から新防災行政情報伝達システムが導入されます。

◆スマホのLINEアプリや安全安心メールで情報を受信できますが、無い方は今回購入する戸別受信機が無償で貸与されます。詳しくは広報せんぼく7/1号5Pを。

議決結果/議員賛否 令和6年 第4回 仙北市議会定例会(招集日:令和6年6月6日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律に定める特定のケース以外では決決してしないことになっています)

議案番号	件 名	会派及び氏名	議決月日	議決結果	蒼生会						公明党	共産党	無会派						
					小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	青柳宗五郎	門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宜	澤田雅亮	中村和彦	小田島広仁	西宮三春
議案第63号	仙北市小規模水道事業等給水条例の一部を改正する条例制定について		6/28	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第64号	仙北市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について		6/28	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第68号	令和16年度仙北市水道事業会計補正予算（第1号）		6/28	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

一般会計補正額4億2,389万3千円を可決

累計211億199万7千円に

固定資産税の課税誤りよる還付金 7,429 万 8 千円を可決

令和6年度 一般会計補正予算(第2号・第3号)の主な事業

一般総務費	139万円	打野集落会館解体工事費と生保内南地区基盤整備完工記念碑建立の補助金
高度外国人材等受入促進事業費	877万円	外国人が働きやすくするためのワンストップセンター設立等の事業費
固定資産税の過誤納税等還付金	7,429万円	固定資産税の算定誤りにより過大に納付していた方への還付金
定額減税補足給付金事業費	1 億6,803万円	国の定額減税で給与から減税しきれない市民に差額を給付
物価高騰対応重点支援給付金事業費	6,864万円	今年度新たに住民税非課税か均等割のみ非課税の世帯に 10 万円と 18 歳以下のこども一人当たり5万円の支給
児童関係手当支給事務費	1,018万円	児童手当法改正に伴うシステム改修費用
予防事業費	4,421万円	新型コロナワクチンの 10,300 円の助成金（65 歳以上と基礎疾患のある方が対象）
消雪施設整備事業費補助金	100万円	消雪施設の新設に対する補助金の支給
訴訟関係費	6万円	水道の給水管調査費の支払いを求められた訴訟に対する弁護士の委託料

予算常任委員会での主な質疑

◆固定資産税の算定誤りによる還付金の支払いについて

質問 還付金の支払い対象件数と今後の対策等について伺う。

答弁 固定資産税の算定誤りについては、令和5年度に実施した地方税法第408条調査に基づくものであり、還付対象件数は1,065件である。今後の対策については、4月に「固定資産税等調査委員会」を設置し、第1回目の会議を開催したところである。委員会での調査及び検証を行い原因の究明と再発防止策を検討している。今後、7月と9月にも委員会を開催し、徹底した再発防止策を構築する。

◆消雪施設整備事業費補助金について

質問 この補助金が支給される消雪施設の具体的な内容とこの補助事業の対象件数及び補助金の上限額を伺う。

答弁 開発行為事業者が新たに宅地開発を行ったエリアにおいて、道路に消雪パイプを設置し地下水で道路に積もった雪を解かし、市道の除雪が不用になる施設である。対象事業は1件であり、補助金は設置費の1/2で上限は100万円である。

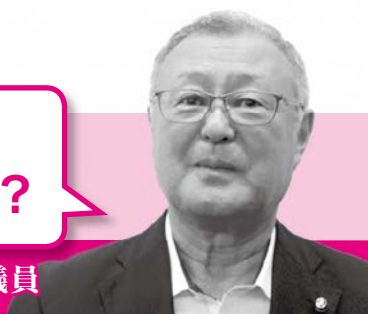
◆令和6年度定額減税補足給付金事業費について

質問 今年度の国の定額減税に係る補正予算とのことだが、仙北市が減収となる分の補填なのか。また、この事業に委託料が計上されているが、委託内容と委託先について伺う。

答弁 この定額減税は、一人当たり所得税が3万円、住民税が1万円で扶養家族も同額加算される。給与所得者が所得税で減税しきれない市民に、市が差額を給付する補正予算である。委託内容は、対象の市民の申請や給付の問い合わせに対応するコールセンター業務と提出された書類審査や未提出者への勧奨、給付データの作成などの事務作業を委託する予定である。委託先はまだ決まっていない。

農政憲法「食料・農業・農村基本法」 改正法成立！本市に与える影響(変化)は？

蒼生会 門脇 晃 幸 議員



市長

今後の具体施策をみて本市に有利な対応を検討する

**仙北市における今後の農業
振興はどう変わるのか**

質問 この改正によって仙北市の農業・街づくりにおいて応分の影響(変化)を受けると思うが、どう捉えているか所見を伺う。

また、基本計画の見直しがあり農業の成長産業化に向けた農政改革を引き続き推進・(中小・家族経営)など多様な経営体の生産基盤の強化を通じた農業経営の底上げ・農村振興策を総動員した「地域政策の総合化」等、これらに向けた取組みの効果が高まるように関係省庁や地方自治体と連携し生産基盤の強化と多面的機能の発展を図っていく。としている。この基本計画と改正法の整合性を見たとき仙北市の農村振興の方向性が見えてくると思うがどうか。

答弁 日本の農業を取り巻く情勢の中で三つの大きな課題があると考えている。

一点目は世界情勢である。ロシアによるウクライナ侵攻が飼料高騰を招き、イスラエルとガザ、中国と台湾の緊張、北朝鮮など様々な影響を受けている。これによって円安が進行し海外からの食料の買い負けをしている。

二点目は異常気象である。毎年、

高温だったり大雨だったり、食料の安定供給が非常に厳しくなってきた。

三点目は業従事者の高齢化。耕作放棄地がどんどん増えていく中で、食料自給率がここまで低い国がなぜもっと農業に力を入れていかないのか、若者が就農したいというような環境づくりができていないのか。

一番懸念されるのは本当に食糧難であること。以前話したと思うが、NHKの特集で「米が普通に買えるのが当たり前ではない」という番組をみてハツとした。米を作っている人がいるから米が買える。それが今の高齢化した農業従事者がいずれ離農したとき、米の供給というものはどんどん厳しくなっていく。それに見合うだけ若手や後継者が就農しているかといえば、そうではない。当然米の供給は厳しくなり自給率が落ちていく。その時日本はどういう政策で国を存続させていくのか。一地方自治体の首長ではあるが非常に不安に思っている。

本改正法はこうした課題解決の方向性を示したものと認識している。

これまで進められてきた農業施策を引き継ぎ、強化、推進していく部分が多いことから、今回の改正により市内農業者の農業生産活動に即時

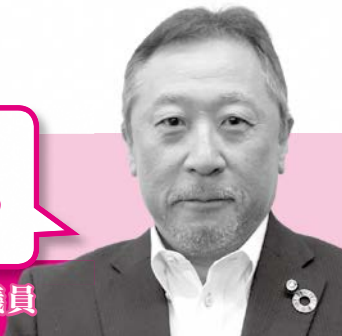


■本市が誇る豊かな水田

に大きな影響が及ぶものとは考えていないが、今後の変化や影響に遅れず対応できるようまた、現行の食料・農業・農村基本計画及び同計画が令和7年度に見直しとなることから、展開される国の施策をはじめ県の施策の動向についても注意深く情報収集し、仙北市の農村政策の方向性について検討してまいりたい。

宿泊税等についての考え、動きはどのようなになっているのか？

小田島 広仁 議員



市長

2年以内の導入を目標に、7月以降速やかに動き始める!!

クマ対策について

質問 クマの目撃情報、檻の追加、自動撮影カメラの状況、住宅地に近い市所有地の栗の木等の伐採について伺う。

答弁 5月末日現在の目撃情報は21件、昨年同時期の目撃情報が8件であり、2倍以上である。

クマ捕獲用檻は6基追加し33基となる。自動撮影カメラは古城山公園に1基設置しクマが映り、箱わなを設置し、1頭を捕獲した。桧木内川にもカメラを設置したが、その他は猟友会等と協議の上、箱わなを設置した箇所を中心に配備したい。市所有地の栗の木等は状況や条件等を確認した上で検討する。学校施設の栗の木等は今年度で全て伐採する。

空き家対策について

質問 空き家、危険老朽化の戸数と対応について伺う。

答弁 把握している空き家は845軒、危険老朽化は60軒である。これまで所有者に勧告以上の措置はなかったが、状況が改善されない場合はより厳しい措置を取ることも検討しなければならない。

緊急性が高いと判断した空き家は、危険空き家安全対策応急措置として部分的な取り壊し等を行い、昨

年度は2軒対応している。



■危険空き家が隣接しているため立入禁止になっている通称 カエル公園

入湯税、宿泊税について

質問 宿泊税等について検討する考えがあるのか。考えているならいつから動くのか伺う。

答弁 2年前に入湯税の一般質問時、厳しい財政状況で有効な税収と私自身も思った。宿泊税は全国の導入事例が出てきており、前向きに導

入を検討すべきと思っている。

観光産業は貴重な財源である。入湯税超過税率の適用と併せて検討を進めてきた。今年度の部局経営方針でも、2年以内の導入を目標としており、7月以降速やかに法定外目的税の導入に向けて動き始め、庁内の方針が固まり次第、どのように観光振興に使っていくのかを提示できるようにしてから、宿泊事業者等へ説明会やヒアリングを早急に実施していく。

地熱発電調査について

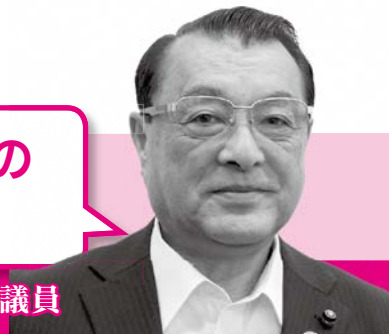
質問 地熱発電の調査が行われるとのことだが、現状と市の関わり方、考え方について伺う。

答弁 昨年、大手事業者が南八幡平地域の地熱発電の可能性を探るべく調査を行いたいとの相談を受けた。温泉事業者、観光協会や商工会、環境省等に事業説明を行っている旨の報告も受けている。

観光を主要産業とする本市は温泉事業者の了解が得られなければ、賛成できないという認識であり、当該事業者に伝えている。当該事業者も同様の認識を持っている。市内関係者の不利益にならないよう動向を注視していく。

人口減少対策で「※消滅可能性都市」からの脱却を

公明党 熊谷一夫 議員



市長

若年層に新たな雇用の場の提供と地域経済の活性化、定住人口の増加を目指す

若年女性が安心して結婚・妊娠・出産・子育てが出来る支援策を

質問 姉妹都市の大村市では、「こどもまんなか社会」を掲げて、ロゴマークやこども未来部を創設して手厚い施策を行なっている。当市の結婚に関する支援策と成婚数、マッチングサポート事業はあるか。

答弁 あきた結婚支援センターへの入会金を助成しており、これまでの成婚数は累計で17組、令和5年度はゼロ組。新婚世帯に夫婦共に29歳以下は60万円、39歳以下は30万円の結婚新生活支援事業補助金を実施。市独自でサイトやアプリなどのマッチングサポートは考えていない。市内イベント等での出会いの場を創出していきたい。



■大村市のこどもまんなかこどもセンターのロゴマーク

質問 人口減少を食い止めるための具体的な今後の支援策は。

答弁 サテライトオフィスやイン

ターナショナルスクール誘致事業、高度外国人材等受入促進事業を推進し、若年層に新たな雇用の場の提供と地域経済の活性化、定住人口の増加を目指す。

質問 出生数の現状と目標、若年女性が安心して妊娠・子育てができる支援策は。

答弁 出生数は令和7年度75人の目標。令和5年度は78人と微増。不妊治療費助成支援事業や産後ケア・子育て世帯訪問支援事業等の費用助成等の支援をしている。子育て支援は、出産準備金とファミリーサポート券交付など9つの支援策を行っている。

質問 若いファミリー層の移住・定住施策と若者の働き方対策・企業誘致は。

答弁 住まい応援金として1世帯20万円、子育て世帯には子ども1人に付き5万円を加算して支給。仙北市定住促進奨励金等若者の移住をしやすくしている。育児休暇の取得増加や保障の充実、福利厚生の上昇支援策が有効と考える。企業誘致は、サテライトオフィスの誘致と首都圏のモニターツアーを開催し、成果が上がっている。黒沢工業団地への誘致企業にも積極的に取り組む。

市民が誇りを持って語れる市政の環境づくりを

質問 大村市では、若手職員が政策提案を市長にプレゼンする場がある。市庁舎内の環境づくりについて伺う。

答弁 若手職員の意見が通りやすい風通しの良い職場づくりが必要不可欠である。ぜひ、プレゼンの場を設けていきたいと思う。

難聴者のための軟骨伝導イヤホンヤホンの導入について

質問 庁舎窓口では、耳の聞こえづらい方への対応と話題になっている軟骨伝導イヤホンの導入をしてはどうか。

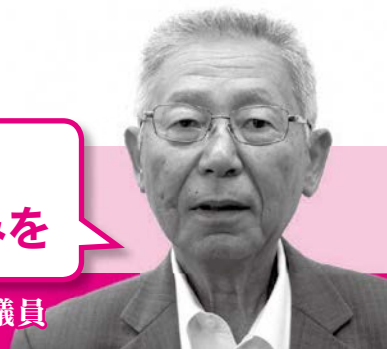
答弁 耳の聞こえづらい方には、そばに寄り添い、ゆっくりお話をしたり、筆談で対応する等丁寧な対応に努めている。他自治体の利用実績を参考に、仙北市の窓口でも試験導入したい。



■軟骨伝導イヤホンの使用イメージ図

用語解説

※消滅可能性都市…「人口戦略会議」が2020年から2050年の30年間で、20歳～39歳の若年女性が推計で半数以下になると公表された自治体



あらゆる力を結集し、新仙岩トンネルと 国道46号高規格化早期事業化へ取り組みを

荒木田 俊一 議員

市長

汗でグチャグチャになっても一生懸命取り組んでいく

新仙岩トンネル整備、国道46号線高規格化の仙北市の考え方は

質問 仙北市の観光面、産業、経済面での優位性を高めるために各方面の力を借り、新仙岩トンネルや国道46号線改良の事業化の目途は。

答弁 新仙岩トンネルについては整備主体でない新幹線期成同盟会が明確な目標を定めることは困難。まずは、沿線自治体が連携し必要性を訴え、財源の確保とともに早期の整備実現を国に要望していく。

国道46号については、東北整備局において社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会では生保内卒田間の現状と課題が議論されており、事業化に向けて一歩踏み出したと捉えている。

質問 官民一体となった取り組みはどうしていくのか。

答弁 市内事業者や市民の皆さんへの関心を高める努力をしていく。

秋田新幹線新仙岩トンネルでは、令和6年3月8日に県、JR東日本秋田支社、期成同盟会との間で連携協定を締結し、整備で得られる効果を最大限高めるため、官民連携で取り組んでいくことを確認している。今後とも官民一体となった活動を継続していく。

有害鳥獣による被害をどう評価しているのか

質問 クマ、イノシシによる農業への被害が年々多くなっているが今後の対応は。また、農水省の鳥獣被害防止総合対策交付金があるが活用しているか。

答弁 クマによる被害は6月時点で人的被害が1件、捕獲頭数9頭、イノシシ捕獲頭数9頭である。くくりわなの増設や箱わなの設置で被害の減少に向けた。いま直面している地域課題に対し、自治体としてしっかり対応していくことが重要である。

現在、国の鳥獣被害防止総合対策交付金は活用していないが、今後、電気柵やその他の対応に必要な時に活用を図りたい。

市民の足の確保について

質問 市民の足である公共交通機関の整備は、その都度ではなくトータル的なランドデザインを描き対応していく必要はないのか。

答弁 令和4年3月から令和8年3月までの公共交通計画を策定し、計画を軸とした各種施策に取り組んでいる。交通事業者とも連携を取りながら、市内9地区ごとに年次計画を立て、利用者数と経費のバランスを見ながら小型化やデマンド化、IT化などを進めている。

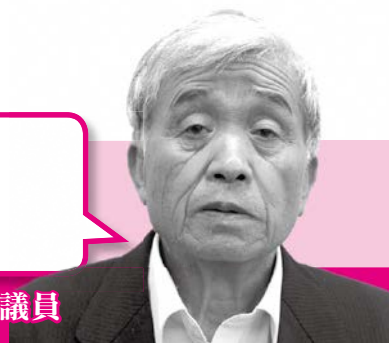
また、ライドシェア事業など法整備の検討が始まっているので、状況の変化に応じて随時見直していく。



■県が作成配布している注意喚起ポスター

市道大瀬蔵野線の拡幅を

高久昭二 議員



市長

現在のところ拡幅する予定はない

市民生活を守る仙北市鳥獣被害対策について

質問 5月24日に、田沢地内の山林で、市内在住の女性がクマに襲われる人身被害が発生した。人的被害を未然に防ぐ対策が求められている。クマ・イノシシ対策について、国・県と連携し、支援をするべきではないか。

答弁 クマ対策については、県の6月補正予算案にも、クマ被害の緊急対策費として緩衝帯整備費や銃器購入費を支援する他、放置された果樹にクマが集まりやすいことから、市町村と協力し伐採を進める事などの予算を計上しているようだが、詳細については示されていないため、今後、県と協力しながら対応について協議をしていきたい。

イノシシ対策については、国の予算等、早急に活用を検討しながら、被害の未然防止を一日でも早く実現できるように検討していく。

仙北市観光・文化・伝承施設等のレベルアップを図る方策について

質問 芥川賞作家、石川達三の母親の生家、角館町田町下丁にあった旧栗原家の旧家の玄関と思われる門や

一部塀が残っているが、非常に傷んでいる。所有者の方の協力をいただき、可能であれば出来るだけ保存に向け手を掛ける事と併せ、ここを一つの観光文化スポットとして、標柱や標石を設置するべきと考える。今後、どのように活かしていくのか。

答弁 多くの文化人を輩出し、歴史的文化遺産が多く存在する事から現在、文化財保存活用地域計画の策定を進めている。これにより、指定・未指定文化財の見える化を図り、広く保存・活用をする事で、新たな文化観光の推進や確実な文化財の継承につなげる事を目的としている。

仙北市の宝である地域固有の文化遺産を活用する事で、ふるさとへの愛着と誇りを持った人材が育つなど、様々な効果を生み出すものと考えている。

市道大瀬蔵野線の拡幅について

質問 大瀬蔵野橋の交通促進を図る上で、冬季通行を可能にするため、市道大瀬蔵野線を拡幅するべきではないか。

答弁 交通量や市民ニーズ、費用対効果などを検討した上での事になるが、現在のところ、市道大瀬蔵野線を拡幅する予定はない。



市道大瀬蔵野線の拡幅要望があり交通量が問われた大瀬蔵野橋

質問 大瀬蔵野橋の一日の交通量について、調査しているのか。

答弁 (建設部長) 交通量調査は実施していないため、把握していない。



花葉館に隣接の旧グランドゴルフ場を再開できないか

蒼生会 高橋輝彦 議員

総務部長

再開の可能性について総合的に検討する

クマから市民の命を守る取り組みについて

質問 クマが指定管理鳥獣に追加されたが、そのメリットを生かした新たな対策はあるか。また、人身被害対策が農林整備課任せに見えるが、危機管理監、総合防災課が包括的に対策を講ずるべきではないか。

答弁 県が指定管理鳥獣ごとに捕獲等に関する実施計画を策定するが、まだクマに関しての詳細は示されていない。電気柵や果樹の伐採の補助などに国の交付金を検討したい。また、人身被害対策は2課が連携しチラシ配布や巡回による注意喚起を行っている。住宅地でのクマ出没訓練なども実施したいと考えている。

質問 新聞報道によると、仙北市は、小・中学校でのクマの対応マニュアルを検討中とのことだが、児童生徒の命を守るためには早急に作成するべきではないか。また、全児童生徒への熊鈴の配付や全学校へのクマ撃退スプレー配備についての方針を伺う。

答弁 (教育長) 仙北市では学校ごとに、クマ対応マニュアルを作成している。現在、教育委員会で作成中の統一版が6月中旬に完成予定である。クマの撃退スプレーは全小・中学校に配備している。熊鈴の配付は

検討中である。

質問 クマの撃退スプレーは至近距離から噴射するので、逆に危険ではないか。

答弁 (教育長) 学校周辺にクマが出た場合の訓練を初めて実施するので、その際にクマ撃退スプレーを使う訓練も行いたい。

スポーツの力による幸福度向上の取り組みについて

質問 健康寿命延伸と社交の場を提供するため、花葉館に隣接する旧グランドゴルフ場を再開する方策はないものか。

答弁 昨年度まで花葉館の自主事業として、私有地を有料で借りて営業していたが採算が取れないため、角館グランドゴルフ協会と運営委託等について協議をしたが、経営判断で今年度から営業を終了した。

答弁 (総務部長) 市が土地を借り上げて事業を行うことはあり得るので、再開の可能性について総合的に検討させて欲しい。

質問 生涯スポーツとして人気が高く、仙北市民の競技人口も多いグランドゴルフやゴルフの市長杯を開催して、市民に生きがいを提供してはどうか。

答弁 グランドゴルフは気軽に誰でも楽しめるスポーツとして人気があ

る。市長杯の名称については、関係団体の意見などを伺い検討したい。市長杯の冠を付けてもらうのは光栄であり、何ら問題はないと考えている。



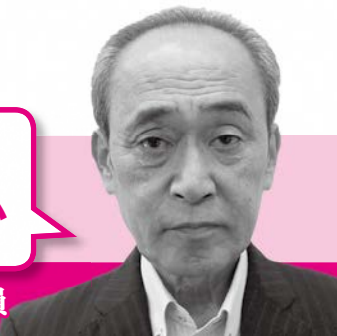
■再開の要望が多い花葉館旧グランドゴルフ場

【その他の質問項目】

- ◆「みんなど」投稿者への対応報告をしつかりと
- ◆現行の防災行政無線廃止後の情報伝達を万全に

老朽化・危険度のある公共施設の 運営・維持管理をどうするか

蒼生会 武藤 義彦 議員



市長

各施設データを分析し、今年度中に各施設の方向性を示す

公共施設の現状について

質問 公共サービスに寄与していない施設については再検証が必要と思うが、老朽化や危険度の度合いを含めた施設の運営・維持管理の方向性をどう示すのか。

答弁 個別施設計画に、除却・譲渡・大規模改修等の目標計画がある。公共施設マネジメント事業支援業務委託契約により、各施設データを分析



■除却が進まない公共施設（旧西明寺公民館）

し、次年度予算に反映しながら効率的に施設の運営・維持管理を進め、今年度中には各施設の方向性を示す見込みである。

質問 旧角館病院の手術室には多くの各部署管理の文書が運び込まれたが、今後、角館東地区公民館を含めた各施設にある公文書をどのように集約管理していくのか。

答弁 現時点では、公文書を集約する施設は決定していない。角館上野庁舎改修工事に伴い、旧角館内の文書は年内を用途に他施設への移動を予定している。

将来的に集約する場所の選定は、個別施設計画の見直しを行い、施設の利活用を検討した上で最適な施設に集約を考えている。

空き家対策について

質問 5月の強風被害の再発も危惧されることから、空き家の現状把握と家屋不良度の再確認が必要ではないか。

答弁 総合防災課と税務課で調査したが、税務調査から判明した空き家は危険度判定がされておらず、今年度は現場調査を実施している。危険度判定の物件についても、市民情報や市の見回り確認を実施している。現在、市民に分かりやすい空き家対

策ガイドブックの準備を進めており10月発刊を目指している。

質問 市では解体処分費の補助や空き家バンク登録等の取組をしているが、庁舎内の連携状況はどうか。

答弁 持ち主のわからない物件等については、庁内関係部局や法務局といった他機関に対しても照会する等、庁舎内外で連携を図っている。

ふるさと納税について

質問 返礼品である米の先行予約が好調で、このまま推移した場合集荷が追いつかないという実情を把握しているか。

答弁 米不足の可能性は重々把握している。不足してからは打てる手が限られるため、中間事業者や農業法人と相談の上、米の確保に注力している。

質問 米不足・価格高騰が予想される中、寄付額を高め設定する必要もあるのではないか。

答弁 価格高騰は全国的であり、他自治体も同様に値上げするものである。寄付額への影響は少ないと予想している。

寄付額の改定については中間事業者と相談しており、市場動向に注視し適切な寄付金額を設定する。

総務文教常任委員会

高度外国人材等受入促進事業費877万円により 地域経済を活性化

総務文教常任委員会では、生保内・田沢財産区特別会計補正予算（第1号）、白岩辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定及び、令和6年度一般会計補正予算（第2号）などが審査されました。

令和6年度 総務文教関係の一般会計補正予算（第2号）主な内容

社会保障・税番号制度システム整備費	639万円	情報連携の本格運用開始に伴うシステム改修業務委託費など
移住体験推進事業費	0円	事業内の節段組み換え（公有財産の購入から賃貸借へ変更）総額変更なし（450万円）
高度外国人材等受入促進事業費	877万円	優秀な外国人材の雇用支援による地域経済の活性化や定住増加を目指す
過誤納税等還付金	7,429万円	昨年度実施した固定資産税の実地調査の結果から過年度分の税額構成による還付金還付加算金
定額減税補足給付金事業費	1億6,803万円	令和6年度実施される定額減税と一体のもので、定額減税を所得税で還付しきれない方に対し差額を給付する事業

総務文教常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆高度外国人材等受入促進事業費について

質問 外国人の日本語教育についてはどう対応しているか。また、ホテル業や介護といった事業にも今後外国人材を受け入れることも考えられるがどう考えているか。

答弁 この事業は日本在住外国人を対象としており日本語を話せる方と認識している。また、業務内容は事務系を想定しているが、今後は多様な業種に対応することも整理しながら外国人受入をしていきたい。

◆移住体験推進事業費について

質問 当初予算では購入することで計上したのが6月に委託の対応にする補正とは、精査した予算計上がされてないのではないか。

答弁 多種多様な形態があり対象を絞り込めない状況の中このような形になった。当初予算の段階で検討が足りなかったことは真摯に受け止める。

総務文教常任委員会での主な議案質疑

◆田沢財産区特別会計補正予算（第1号）

質問 集落会館の解体費について、要望はどれくらいあるのか。また、集落への説明はどのようにしているか

答弁 要望は1件である。解体、改修の際には集落の中で検討頂き、周知をお願いしながら連携し進めていきたい。

◆白岩辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定について

質問 白岩小学校閉校に伴う登下校のスクールバスの運行時間とランニングコストは怎么样了。

答弁 登校時は、広久内発（下中川原発7：20～7：55着）と白岩発（白岩小発7：25～7：50着）の2台の運行を予定している。
下校時は、5校時放課は14：30発、6校時放課は15：20発を予定している。ランニングコストは委託料140万円、管理費240万円を想定している。

（門脇 晃幸 記）

市民福祉常任委員会

物価高騰対応重点支援給付金支給事業費

6,864万円を計上

市民福祉常任委員会では、物価高騰対応重点支援給付金支給事業費、医療 MaaS 管理運営事業費などを盛り込んだ令和6年度一般会計補正予算などが審査されました。

令和6年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算（第2号）主な内容

物価高騰対応重点支援給付金支給事業費	6,864万円	低所得者世帯に給付の他、職員手当、印刷製本費等
生活保護事務費	159万円	生活保護法の改正に伴う生活保護システム改修の委託費
子育てファミリー支援事業費	55万円	ファミリーサポート券の利用料、印刷費、通信運搬費等
児童関係手当支給事務費	1,018万円	児童手当法改正によるシステム改修費
児童福祉施設費一般総務費	351万円	子育て推進課の会計年度職員の人件費等
保険事務総務費	135万円	コロナワクチン等の定期接種化に伴うシステム改修費
予防事業費	4,421万円	コロナワクチン予防接種の対象者への補助金等
歯科診療所管理運営費	364万円	田沢湖歯科診療所の歯科衛生士に係る人件費
医療 MaaS 管理運営事業費	269万円	西明寺診療所の会計年度職員の人件費等

市民福祉常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆物価高騰重点支援給付金支給事業費について

質問 令和5年度に対象にならなかった方で、今年度新たに対象になる方への支援とのことであるが、昨年は18歳以下の子どもがいる家庭への対応はどのようになっていたのか。

答弁 昨年も同様で、18歳以下の子どもがいる家庭には一人当たり5万円支給した。今年度の対象は690世帯を予想しており、その中で18歳以下の子どもがいる家庭は60世帯で、子どもは130人見込んでいる。

◆予防事業費について

質問 新型コロナワクチンの予防接種の補助ということだが、対象者や補助金額などの詳細についてどのようになっているのか。また、補助対象者は何人を見込んでいるのか、事前にワクチンを準備するのか、補助対象外の子ども等はどのようになるのか。

答弁 国が1回の接種料を15,300円と想定しており、国が8,300円、市が2,000円を補助することで、個人負担が5,000円となる。対象となる方は65歳以上の方、基礎疾患のある方4,293人を予定している。ワクチンについてはインフルエンザと同様、各医療機関で予約を受け付けるので、仕入れも各医療機関が手配することになる。対象外の方々が接種する場合15,300円となる。

◆医療 MaaS 管理運営事業費について

質問 寝たきりの方の対応はどのようになっているのか。また、本事業はたくさん活用してもらい、利便性を上げていく必要があり、この事業を東北で初めて導入しただけでは意味がない。

答弁 訪問医療もしっかり実施されている。医療 MaaS の当初の目的は「診療所に来れない方々、足の便が悪い方々の所へ診療所が出向く」ということである。本事業について改めてパンフレットを作成し、周知していきたい。今までの利用者は3月が3人、4月が6人、5月が4人となっている。現状は市川先生一人に頑張ってもらっている状態なので、例えば、市立病院の先生方にも協力をいただき、週に一回の活用ではなく、毎日どこかで使われるような形を目指していきたい。



■毎日の運用が期待される医療 MaaS 車両移動診療車「せんぼく医信電診丸」

(小田島 広仁 記)

産業建設常任委員会

田沢湖及び周辺観光振興活用への寄付金2,000万円

産業建設常任委員会では、仙北市基金条例の一部改正、小規模水道事業等給水条例の一部改正、水道事業給水条例の一部改正、令和6年度仙北市水道事業会計補正予算（第1号）及び令和6年度仙北市一般会計補正予算（第2号）などが審査されました。

令和6年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算(第2号)の主な内容

産業祭実行委員会負担金	28万円	産業祭実行委員会への負担金
仙北市堆肥センター管理運営費	705万円	仙北市堆肥センターの屋根修繕費
仙北市田沢湖観光振興基金積立金	2,000万円	田沢湖及び周辺地域の観光施設整備や観光振興に資する事業の経費として寄付を積立
雪寒地域建設機械整備費	462万円	除雪機械小型ロータリー車1台の購入費
消雪施設整備事業費補助金	100万円	開発行為エリアの消雪施設設置費の一部補助
桜保護管理費	36万円	樹木内部の空洞化を診断するハンマーの購入費

産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆産業祭実行委員会負担金の当初予算計上の見送りについて

質問 繰越金が発生しなかった場合の産業祭開催と、今後の産業祭のあり方をどう考えているか。

答弁 今年度は繰越が多く発生する見込みとなっていたため、令和5年度開催規模をベースに考え、繰越で間に合うと判断した。今後は基本的には当初予算計上で進めていきたい。

◆仙北市堆肥センター管理運営費について

質問 堆肥センターの設置年数は何年か。また長期的に運用していくためには運搬料等の見直しを検討すべきではないか。

答弁 平成30年から7年が経過している。運搬料等については利用しやすい価格帯の中でのバランスを考えていきたい。

◆消雪施設整備事業費補助金について

質問 角館駅前の宅地開発の他に相談があった場合の対応は。

答弁 今回の補正は1件分であり、新たに相談があった場合は補正をお願い



■屋根修繕を実施する堆肥センター

仙北市小規模水道事業等給水条例の一部を改正する条例制定について

質問 水道料金を据え置いた場合は今後どうなるか。

答弁 令和8年度には、老朽管更新等の事業を実施しなくとも資金不足となり、通常経費も捻出できなくなることが予想される。

質問 令和5年度の決算見込みと、老朽管更新に対する考え方はどうか。

答弁 令和5年度の決算見込みは、1億3,800万円の赤字で過去最大である。老朽管更新については、国庫補助事業等を活用し持出しを抑えているが、未普及地域解消事業実施により満足いく資金となっていない。来年度以降は緊急的老朽管更新に加え、防災関連や利用者の多い箇所の更新を考えている。

採決 物価高騰、燃料費高騰の状況では値上げは見送るべきとの反対討論と、水道事業の存続に関わる問題であり、安全な水の供給には必要であるとの賛成討論があり、採決の結果 賛成多数で原案可決。

(武藤 義彦 記)

仙北市新規採用職員 議会傍聴の感想（8名）

社会福祉課 主事 小松 真穂^{まほ}

市所有地の栗の木を伐採することによって、栗農家の被害が拡大する可能性がある。あるので慎重に検討するということがあった。どんなことでも、もちろん簡単には決められないし、様々な可能性を考えて多角的な視点で判断することの大切さを感じた。

今回の傍聴研修で、仙北市職員としての業務が、直接市民の声として反映され、議員へ届き議題となることを、身をもって感じた。自分には遠い存在だと思っていた議会は実は身近であると分かった。自分も仙北市の為に何ができるか日々考え行動に移していきたい。

企画政策課 主事 長澤 結唯^{ゆい}

今回の研修を通して、東京都や東京都に通勤する東京都近郊住民が就職、起業した場合の移住への手厚いサポートがあることや、国道46号には安全性の低さだけでなく物流の不安定さに関する問題も抱えていることなど、仙北市に関する知識の浅さを実感した。担当する業務や仙北市の施策についてさらに理解を深め、県内外の他自治体の施策についても学習し、今回の一般質問で議論されていた課題だけでなく、仙北市が抱える課題解決に向けて尽力していきたいと感じた。

包括支援センター 主査 草薙 那津喜^{なつき}

仙北市の状況や他市の状況を踏まえながら、市長や執行部の方が答弁しているのが印象的で、一般質問に至るまで多くの準備がされていることを窺い知ることができた。デジタルツールを使っている所も印象的だった。

一般質問に意見が上がるのは、市民の関心がある事柄も多くあり、地域課題を知る機会となる。ただ市民の関心が薄いことでも、取り組むべき事業等もあると感じた。市民の代表である市議会、市政を運営する市執行部が目線を合わせて、足並みを揃えていく必要性があることを理解することができた。私たちの日々の業務でも、改めて根拠のある丁寧な仕事をしたかった。

上下水道課 主事 富樫 弘稀^{ひろき}

今回の研修では実際に議場に行き、一般質問を傍聴した。その中で特に印象に残ったのはクマ対策についての質疑応答だった。市有地にある全ての栗の木を伐採しないのかという質問に対して、民有地の木にクマを集めることに繋がる可能性があるため検討中であると回答しており、市民の安全のためには迅速に行動を起こすことは大切であるが、様々な可能性を考慮して慎重になることも同じく大切であると学ぶことができた。

建設課 技師 戸嶋 史玖^{りく}

特に印象に残っている市長の答弁として、「仙北市は広大な土地があるため、それらを生かした産業の成長化を行うことで、さまざまなビジネスチャンスの可能性が生まれる」という部分です。私は、若年層の転出超過や少子高齢化による農業就業者の減少など、厳しい課題にばかりフォーカスしていた。そのため、仙北市の強みや将来の可能性について、学ぶことができた。また、AIを利用した「スマート農業」の推進により、農業のあり方がめざましく変化していくため、仙北市が今後どのような方向性で進んでいくのか気になった。

国保市民課 主事 藤村 佳奈^{かな}

秋田新幹線の始発と最終が角館、田沢湖にとまらないことやそれぞれの地域間をつなぐバスがなく高齢者の移動手段がないなどの交通の便が悪いという問題です。これは世代を問わず感じている方が多いと思います。また、魅力のあるイベントを行っても交通の便が悪いことによって観光客の方も地域の方も参加しにくい状況だと感じました。

ほかに様々な課題がありますが解決するにあたり財政的な問題もかわってくるため思うようにいかず難しいことが分かりました。それでも今より良い方向に少しずつでも改善する努力を続けて、今の子どもが大人になった時に住み続けたいと思える仙北市になって欲しいです。

子育て推進課 主事 伊藤 蒼友汰^{そうた}

実際に自分が傍聴した一般質問の場は、質疑応答が活発に行われていて、非常に良い話し合いの場になっていてと感じました。特に印象に残ったのは、熊による人身被害対策への質問です。檻など熊対策の物が現在の数量では足りていないのではないかという意見や、ドローンを用いた熊の調査に対する賛同などがありました。市全体の、熊に対する危機感の強さや、被害対策への前向きな姿勢を感じました。

改めて自分も熊に対しての意識を見つめ直し、物置の戸締りの確認など、身近なことから対策をしようと思いました。

生活環境課 技術員 佐藤 郁美^{いくみ}

初めて市議会を傍聴し、実際の議場の雰囲気を知ることができて良い経験になった。

質問にあった、公共施設の現状や空き家対策について、自分が普段利用する機会のない施設のことや、相続土地国庫帰属制度があるというのを初めて聞いて、もっと視野を広げていかなければならないと思った。

今後市議会の内容について関心を持ち、仙北市が抱える課題について「自分ならどうするか？」という姿勢で向き合っていきたい。また、今回聞くことができなかった他の質問への答弁も、後で確認しようと思う。

議会広報 編集メンバー再編成

4月24日に開催された第3回臨時会において、議会広報編集特別委員会が設置され、新たなメンバーが決まりました。4人は再任ですが、新たなメンバーが新たな気持ちで、見て・読んで楽しい・興味の沸く広報誌を作りたいと意気込んでおります。

市議会だより編集方針

■できるだけ多くの市民の方々に読んでいただき、市民に開かれた、市民参加を推進する編集を目指す！

■そのためには…

- ・できる限り文字を大きく
- ・できる限り簡潔にまとめる
- ・写真・イラストで見て楽しく
- ・マンネリ化の打破
→常に新たな視点で
- ・市民参加の市議会だより
- ・市民の声や感想をいただく



青柳委員 武藤委員 門脇委員 西宮委員 小田島委員

熊谷委員 平岡委員長 高橋副委員長 田口委員

新たな議会広報編集特別委員会のメンバーです

台湾の国際温泉旅行協会御一行様の歓迎昼食会で交流深める！

玉川温泉と温泉提携を結んでいる台湾台北市 北投温泉から 周 水美 代表（写真中央）以下 51 名の皆さまを仙北市にお迎えしての歓迎の昼食会に市議会からも 10 名が参加して交流を深めました。

コロナ禍により、数年ぶりの友好親善交流であり、お互いの自慢のお土産を交換し合い大いに盛り上がりしました。

10/30～11/3 に開催される北投温泉祭りの招待状もいただき、今後も姉妹温泉としての絆を更に深めていきたいものです。



表紙を 市民参加型にします

次号から、市議会だよりの表紙を写真好きの市民から提供していただくことにいたします。自分が住んでいる仙北市の好きな写真（風景でも行事・イベントでも人物でもなんでも OK です。）を掲載させていただきます。乞うご期待です！

全国市議会議長会 表彰受賞

6月定例会で全国市議会議長会から2名の議員が永年勤続表彰と感謝状を受賞されました。



在職 20 年表彰
青柳 宗五郎 議員



全国議長会評議員感謝状
黒沢 龍己 議長

人事案件

（敬称略）

雲沢財産区管理委員

- 伊藤 隆一郎（76歳）【再任】
角館町西長野上野 98-1
- 山形 英一（74歳）【再任】
角館町下延竹市 31
- 茂木 唯男（66歳）【再任】
角館町西長野桂湖 48
- 辻谷 公雄（77歳）【新任】
角館町八割坂ノ下 92-1
- 佐藤 龍喜（67歳）【新任】
角館町西長野高森 58-1

編集後記

今号から、新メンバーで編集に当たります。表紙は、再びカラー印刷になりましたので、次号からは市民から写真提供をいただくことに。一般質問者が、自らのページを構成。読まれる紙面を目指します。

クマの出没による人的被害やイノシシの農作物被害も深刻であると、4人の議員が質問に立ちました。クマに遭遇しない。出没情報をつかむ。クマを寄せ付けない環境づくりをするなどの注意喚起を促す答弁がありました。考えさせられました。

今年度市役所新規採用者は23人。2日間午前・午後2交替で議会傍聴研修のため来場。感想から気付きを頂きました。スマホで用が足りる時代ですが、紙媒体もまだまだ必要です。声の議会だよりに取り組まれている方々のご尽力にも感謝します。議会の様子が伝わるよう編集に努めますので率直なご意見をお聞かせください。

（平岡 裕子委員長記）